

豊中・サンマテオ  
都市提携ニュース

第 27 号

1997(平成9)年6月1日発行

豊中・サンマテオ  
姉妹都市協会

事務局 豊中市人権文化部

文化課国際交流係

TEL 858-2651



サンマテオ市役所

# 第25回 高校生英語弁論大会

## THE 25TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



恒例の、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の高校生英語弁論大会が、1997（平成9）年1月25日(土)に豊中市立伝統芸能館で開催されました。今回の大会は市内外の高校8校から女子14人、男子3人の合わせて17人が参加し、熱心に弁論を競いました。



前列左から  
 広瀬さん、中川さん、大谷さん、  
 福盛協会会長、山口さん、  
 越水さん、奥山さん  
 後列左から  
 エドニィさん、国際ソロプチミ  
 スト豊中会長小西さん、  
 ボールドウィンさん、  
 ガーナントさん、川合さん

豊中市長賞は梅花高校の大谷理栄さん、サンマテオ市長賞は聖母被昇天学院高校の山口友見さんでした。また、今回は国際ソロプチミスト豊中が、会の認証10周年を迎えるにあたり、その記念として特別に賞を設けて、サンマテオ市への派遣費用をご寄付くださいました。国際ソロプチミスト豊中賞は梅花高校の中川由美さんが受賞されました。入賞者はつぎの皆さんです。(敬称略)

成績	名前	学校名	学年
豊中市長賞	大谷 理栄	梅花高校	2年
サンマテオ市長賞	山口 友見	聖母被昇天学院	2年
国際ソロプチミスト豊中賞	中川 由美	梅花高校	2年
優秀賞	越水さやか	豊中高校	1年
優秀賞	広瀬 史奈	同志社女子高校	2年
審判員賞	奥山 幸夫	豊中高校	1年

豊中市長賞の大谷理栄さんは「人生の強い

基礎」と題し、阪神淡路大震災でも倒れなかった家のことを例えに、人生の基礎作りの大切さを訴えました。サンマテオ市長賞の山口友見さんは「安楽死—患者の選択」と題して、安楽死が許されるにはどのような条件が必要かという重いテーマに挑みました。また、国際ソロプチミスト豊中賞の中川由美さんは「ベルトモ…その“友情”とは？」と題し、最近、多くの高校生が持っているポケットベルを通して、希薄になりつつある人間関係について語りました。

審査員は元金蘭短期大学教授のディビッド・ボールドウィンさん、金蘭短期大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院短期大学非常勤講師のハイラア・エドニィさん、姉妹都市協会常任理事の川合隆子さんの4人にお願しました。



大谷さん



中川さん



山口さん



越水さん

弁論のあと、テーマの構成や発音について厳正に審査され、成績が発表されました。そして、審査員を代表して、ハイラア・エドニィさんから次のような講評がありました。『英語は論理的であり技術や医療の分野など、今や世界中で使われていますが、皆さんが使われる時は、自分達の心で話すようにしてください。それには、自分達は日本人であるという自覚を持って、日本の文化に裏打ちされた英語でなければなりません。2千年の歴史をもつ文化をくれぐれも大切に、その文化を表す手段として英語を使ってください。そ

うすれば言葉に力が生まれるのではないでしょうか。

次に、夢を持ってください。弁論大会出場が夢がかなったなら、新しい夢を探して持ってください。そうすれば必ずその夢はかなうでしょう。』

なお、豊中市長賞の大谷さん、サンマテオ市長賞の山口さん、国際ソロプチミスト豊中賞の中川さんの3人は、今年8月に姉妹都市であるサンマテオ市へ親善使節として派遣されます。



広瀬さん



奥山さん

英語弁論大会は1972（昭和47）年に第1回目を開催して以来、毎年開催しています。第11回大会からは優勝者を、第14回大会からは優勝・準優勝者2名を、その年の夏にサンマテオ市へ親善使節として派遣し、約1週間のホームステイを通じて市民交流を深めています。

# 私たちのサンマテオ訪問記

第24回高校生英語弁論大会の上位入賞者の安田佳代さんと、守山千代子さんが、昨年8月に姉妹都市サンマテオ市に派遣されました。二人は現地で1週間のホームステイを楽しむとともに、親善使節としての役割を果たしてこられました。訪問時の感動を感想文として寄せられたのでここに紹介します。

## 大きなアメリカ

安田佳代

飛行機に乗ったその瞬間から私の大きな旅は始まりました。成田空港からサンフランシスコ空港行きの飛行機では、三人一組の座席で外国人と隣同士になり、まだ外国についてもいないのに、いきなりどきまぎしてしまいました。飛行機の中では見たことのないアメリカを思い描きながら、期待と不安で胸がいっぱいでした。

サンフランシスコ空港の上空にきて、眼下に広がる広大な景色を見たとき、これがアメリカか!と、とても感動しました。ホームステイ先が千代子ちゃんと一緒にだったのでとても心強く、ホームステイした三家族のどの人も私たちを歓迎してくださり、本当にうれしかったです。ホストファーザーのジョージはとっても愉快な人で、いつも私たちを楽しませてくれました。会う人だれもがいろいろと話しかけてくれるのだけれど、細かいことになるとう自分の気持ちを伝えることも、相手の英語を理解することも困難で、自分のつたない英語を恥ずかしく思いました。でも、どの人も瞳をじっと見て話をし、よく聞いてくれたので、言葉はうまく通じなくても、心は通じたような気がしてとてもうれしかった

です。

日本に帰る日の朝、ホストマザーのバージニアが運転する車で買い物にいったとき、道路沿いに彼女の勤める中学校が見えてきました。日本のように鉄筋コンクリートの校舎で教室が隣り合っているのではなく、その中学校の敷地内には小さな木造のテントのようなものがいくつも建てられていて、各クラスがそのテントのような教室で勉強するという様子でした。彼女はそれらの教室を指さして、「あの教室には窓が一つもないのよ。なぜか」と子ども達がよそ見をして授業に集中できないからなの。でもね、私はその考えは間違っていると思う。だって見たいものを見るということが大切なだから。」と言い、自分たちの運動によって、来年には各教室に窓がつくということを教えてくれました。たった一週間だったけれど、私はアメリカでたくさんのお話を学ぶことができました。

このことは、これから私が成長していく上



市長表敬訪問  
左から安田さん、ガンビンジャー市長、守山さん

できっとプラスになると思います。アメリカは本当に大きなところでした。その国自体も、そしてそこに住む人たち自身も。

## サンマテオの思い出

守山千代子

生まれて初めての海外旅行。飛行機の中、不安、興奮、期待、いろんな気持ちでふくれあがる胸を抑えるかのように、佳代ちゃんとしやべり明かしました。私たち二人は以前から親しい友達だったように気が合いました。

空港には、ムサンテ氏と岩本氏が「カヨ、チヨコ」と書いた紙を持って、迎えにきてくれていました。私たちのホストファミリーは、一日目と三日目と五日目以降はムサンテ氏、二日目はムサンテ氏の妹さん、四日目は内田よう子さんというように、三家族がもてなしてくれました。このほかにもいろいろとお世話になった方々がたくさんいます。

着いたその日から楽しいことばかりでした。サンマテオ、サンフランシスコ、グレイトアメリカ(遊園地)、市長表敬訪問、サンタクルーズなどいろいろなところへつれていってくださいました。サンマテオ市は緑が多く、道路の幅も広くて、とても大きな公園がある美しいところです。市長さんもやさしい方で緊張した私たちの心をほぐしてくださいました。

ホストファミリーの方々は忙しいなか、サンフランシスコのいろいろな名所を案内してくださいました。ケーブルカーに乗ったり、アルカトラズ(昔刑務所だった離れ島)を眺めたり、霧に包まれた美しく壮大なゴールデンゲートブリッジを渡ったり、花に囲まれたロンバードストリートに行ったりしました。それで気づいたことがあります。ホストファミリーの方々は「忙しいのに迷惑をかけてご

めんなさい。」と言われるより、私たちが心から楽しんで、笑った顔を見るほうがうれしいということ。

毎日毎日が充実していて、初めて見るもの聞くものすべてが新鮮で驚きの連続でした。会う人はみんな親切で、私の下手な英語を理解してくれようとしてくれました。相手の言っていることが理解できたとき、また私の言っていることを相手がわかってくれたとき、とてもうれしかったです。私や佳代ちゃんに話すときはゆっくり話してくれましたが、日常会話は速すぎてわからないのです。もっと英語を話せるようになりたいと痛切に思いました。

最後の夕食は、ムサンテ氏の家でバーベキューパーティーを開いてくださいました。今までお世話になった方々も来てくださいました。その上、私たちにお土産をくれたのです。お世話になった上に、プレゼントもくださるとは思っていませんでした。このお土産は私の一生の宝物です。夕食後、子供たちでランプをして、とても楽しく過ごしました。言葉はわからなくても、心が通い合えばお互いを理解できるんだと実感しました。

こんなすばらしい体験をさせてくださった豊中・サンマテオ姉妹都市協会や、アメリカでお世話になった方々、本当にありがとうございました。ぜひもう一度アメリカへ行って、ホストファミリーや、お世話になった方々に会いたいと思っています。



ホストファミリーの家族たちと  
左から二人目安田さん、その隣守山さん

# この1年のできごと

## サンマテオ市 から招待状

今年の夏、豊中市少年野球連盟がサンマテオ市を親善訪問する予定ですが、その招待状が昨年10月にサンマテオ市姉妹都市協会会長のサンディ・ウエンドランドさんから届きました。少年野球チームの親善交流は、関係者のご尽力によりすっかり定着しており、両市の友好、親善に大きな役割を果たされています。

今年は、8月14日から24日までの予定で訪問することになりました。きっと有意義な交流となることでしょう。

## とよなか国際 ネットワークまつりに参加

恒例の「とよなか国際ネットワークまつり」が、昨年10月25日から27日まで、とよなか国際交流センターで開催されました。この祭は、地域で国際交流活動を行い、ネットワークを組んでいるグループが集まって、毎年行っているもので、当協会もネットワークの一員としてサンマテオ市を紹介するパネルの展示を行いました。もちろん、色々な国の人達も大勢参加され、エスニック料理の店が出たり、民族舞踊が飛び出したりで、大いに盛り上がりました。



## 新市長に ゲーリー・イエーツ氏が就任

サンマテオ市議会は、昨年12月2日に改選を行い、ポール・ガンビンジャー氏に代わり、ゲーリー・イエーツ氏が市長に選出されました。

新メンバーは次のとおりです。  
市長 ゲーリー・イエーツ氏  
副市長 スー・レンパート氏  
議員 ポール・ガンビンジャー氏  
議員 ジェリィ・ヒル氏  
議員 クレアー・マック氏

## 「大阪カリフォルニアクラブ」 に入会

「大阪カリフォルニアクラブ」が創設され、今年1月20日に大阪国際ホテルで設立総会が開催されました。同会は、過去にカリフォルニア州に留学や駐在をした人達が集まり情報交換や親善活動を行おうと、(財)大阪府国際交流財団が事務局となって140名の会員で発足したものです。当協会も同州に姉妹都市があることから、団体会員として入会をする事になりました。

## 国際ソロプチミスト 豊中から寄贈

国際ソロプチミスト豊中が認証10周年を迎え、今年2月5日に千里阪急ホテルで記念式典が行われました。

その席上で当協会に、英語弁論大会の「国際ソロプチミスト豊中賞」の目録とサンマテオ市派遣費用が贈られました。

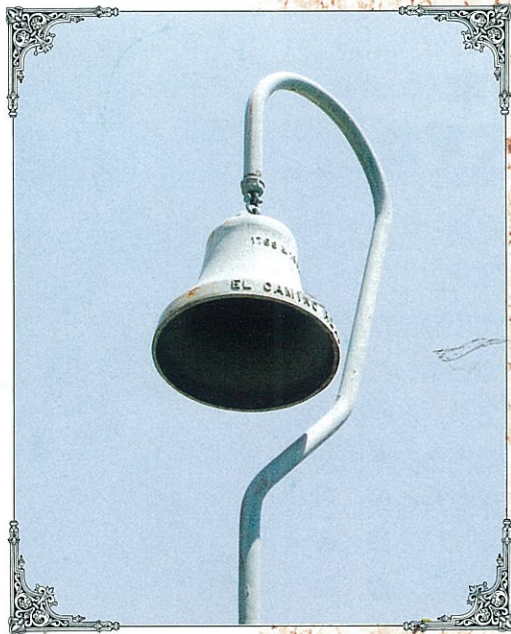
## この木なんの木 …ご存じですか。

市役所の市議会棟の南側に高くそびえている木をご存じでしょうか。

1966(昭和41)年に豊中市市制施行30周年記念として、サンマテオ市から贈られたレッドウッドの木です。贈られてきたときはわずか1メートル程でしたが、両市の関係のようによく育ち、今では大木になりました。



レッドウッドの木



エルカミノリールベル（豊中市役所に設置）  
1964年にサンマテオ市民から豊中市民に  
友情のしるしとして贈られました。